

ISO/IEC JTC1/SC37 : バイオメトリクス 状況報告

2019年12月20日(金)
SC37国内委員長 新崎 卓
(富士通研究所)

- タイトル : Biometrics (バイオメトリクス)
- スcope : 生体認証に関する一般的な技術の標準化
- 設立 : 2002年
- 議長 : Patrick J. Grother (米 NIST)
- 幹事国 : 米国 (事務局ANSI)
- WG数 : 6
- Pメンバー : 28ヶ国 (昨年比 : +1)
主要参加国 : 独、米、仏、西、日、英、豪
- Oメンバー : 20ヶ国 (昨年比 : ±0)
- 出版規格数 : 125 (昨年比 : +2)
- 開発中規格数 : 35 (昨年比 : +9)

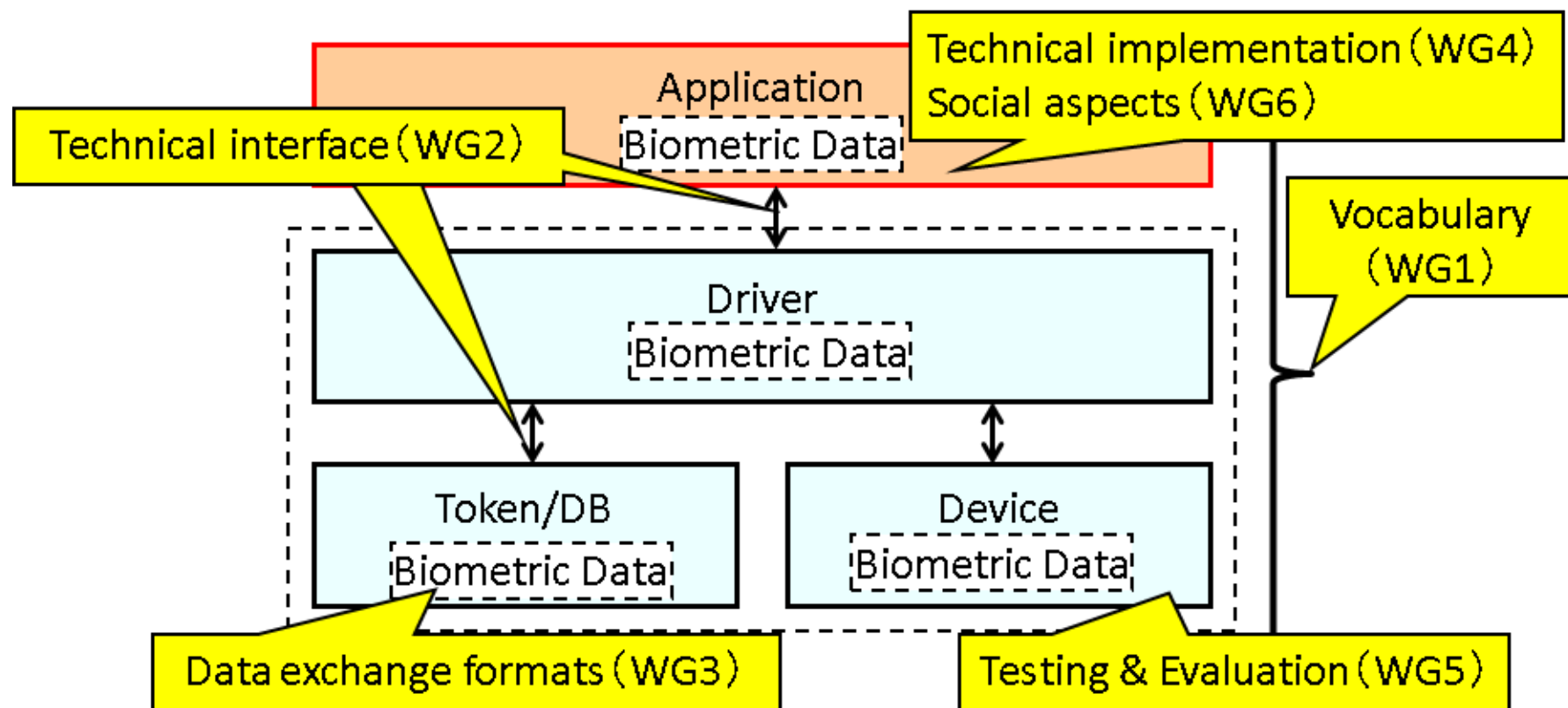
- アプリケーションとシステム間の相互運用性とデータ交換をサポートするための、人間に関する一般的な生体認証技術の標準化。
- 一般的な生体認証技術には、共通ファイルフレームワーク、生体認証アプリケーションプログラミングインターフェイス、生体認証データ交換フォーマット、関連する生体認証プロファイル、評価基準の生体認証技術への適用、パフォーマンスのテストとレポートの方法論、および社会的課題が含まれている
- ISO/IEC JTC 1/SC 17で行われている生体技術をカードおよび個人識別に適用する規格開発はスコープから除外される
- ISO/IEC JTC 1/SC 27で行われているバイOMETリックデータ保護技術、バイOMETリックセキュリティテスト、評価および評価方法論に関する規格開発はスコープから除外される

■ 活動目的：生体認証に関する一般的な技術の標準化

- 国際議長（Patrick J. Grother，米：NIST），
- Committee Manager（Michaela Miller，米：ANSI）
- 国内委員長：新崎 卓（富士通研究所）
- 国内幹事：日間賀 充寿（日立製作所）

タイトル	内容	国際主査	国内主査
WG1 Harmonized biometric vocabulary	技術用語	Steve Clarke (オーストラリア)	山田茂史 (富士通研)
WG2 Biometric technical interfaces	標準API, ファイル フォーマット	Young-Bin Kwon (韓国)	菊池健史 (日立ソリューション)
WG3 Biometric data interchange formats	データ交換フォーマット	Christoph Busch (ドイツ)	坂本静生 (NEC)
WG4 Technical Implementation of Biometric Systems	導入, 運用仕様	Greg Cannon (米国)	山田朝彦 (産総研)
WG5 Biometric testing and reporting	性能試験	Ambika Suman (英国)	山田茂史 (富士通研)
WG6 Cross-Jurisdictional and Societal Aspects of Biometrics	社会的課題	Mario Savastano (イタリア)	山田朝彦 (産総研)

アプリケーション及びシステムにおける相互運用とデータ交換のための、人間に関する一般的なバイOMETRICS技術の標準化



■ SC 37へのリエゾン委員

- IEC: TC 3/SC 3C
- ISO : SC 6、SC17、SC 27、SC 35、SC38、SC42、**TC 68/SC 2**、TC 272、TC 292、TC 307

■ SC 37からのリエゾン委員

- IEC: TC 3/SC 3C、TC 79
- ISO: JTC 1、SC 17、SC 27、SC 31、SC 42、TC 272、TC 307

■ 他のリエゾン（ISO、IEC以外）

- カテゴリーA : FIDOアライアンス、IBIA、ITU
- カテゴリーC : FRONTEx、OASIS、VoiceXML

■ 総会年1回（通常は1月）

- 次回は2020年1月 WG+総会 ニューオリンズ（米国）

■ WG年2回（通常は1月と7月）

- 前回は7月のドイツダルクシュタット会議

■ 第三世代の拡張可能なデータ交換フォーマット

- 後方互換性と将来互換性をサポートする次世代フォーマット
- ISO/IEC 39794-1：フレームワーク、39794-4:指紋画像データ、39794-5:顔画像データのFDIS投票可決、近々に国際標準として発行予定、SC17国際との約束を守れそう
- 39794-2:指紋特徴点、39794-6:虹彩画像、39794-9:血管（静脈）画像のプロジェクトも進行中

■ Object Oriented BioAPI(OOBioAPI)の改版

- JAVAやC#に対応した標準API（BioAPI）の改版が30106-2: JAVA、30106-3:C#として来年に発行される見込み

■ 生体認証の認証性能テスト方法の改版

- ISO/IEC 19795-1がDIS投票中、来年には発行の見込み
- 1対N（1対多）認証の評価方法を増強
- 19795-2、19795-3も対応して改版プロジェクト開始の見込み

■ モバイルデバイス向けのテスト方法が発行

- ISO/IEC TS 19795-9として発行された、ガイドライン（TS）の位置づけ

■ 新しい認証性能テスト方法の日本提案を予定

- 生体認証方式の性能向上が進んだため、従来の統計方式では大量データ（1万人以上）が必要になっているケースも出ている
- 必要データ量が少なく、より低コストで実現できる認証性能テスト方法を日本から来年1月に提案予定

■ 偽造攻撃検知技術のテスト方法の改版開始

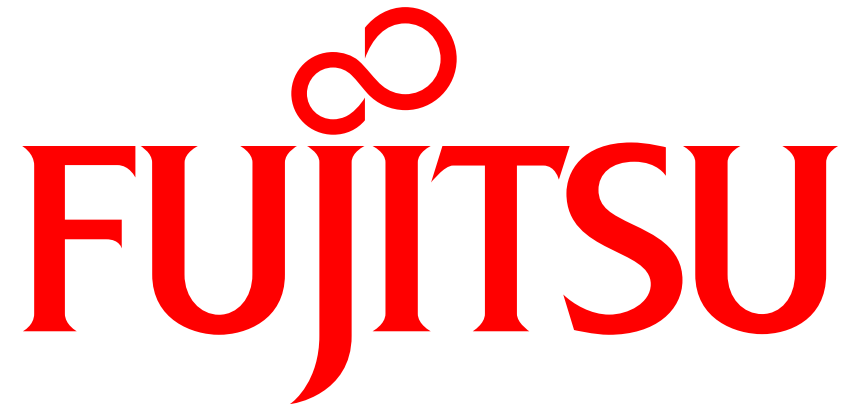
- テスト方法を規定する30107-3の改版プロジェクトを開始
- テストの手続きの明確化等を目的としている
- 30107-3はFIDOアライアンスのBiometric Component Certificationに引用されて用いられている

■ モバイル向けの偽造攻撃検知技術のテスト方法プロファイル

- 順調にいけば30107-4として来年に発行の見込み
- 30107-3を引用しているため30107-3改版が発行された場合は、30107-4も改版される見込み

■ 顔認証関連の新しいプロジェクト

- 自動照合用の顔画像の品質を一軸の指標で表すことを目的として ISO/IEC 24357の規格開発プロジェクトを開始
- 自動照合用の顔画像を適切に採取する仕組みの仕様を規定する ISO/IEC 24758の規格開発プロジェクトを開始



shaping tomorrow with you